

事業中のダムについての意見書（案）について

流域委員会の皆様、とりわけダムワーキンググループの重責を担われた委員の皆様方、大変お疲れさまでした。

11 日の委員会には傍聴参加が出来なかったので資料を送っていただき、本日、川上ダムに関するところと、事業中のダムについての意見書（案）を読ませていただきました。

伊賀の水と緑を考える会としてこの2年間、川上ダム建設の是非について治水、利水、環境、地質、費用対効果、緑のダム構想、住民の意見の反映等、さまざまな機会に発言、意見の提出を行ってきました。

会としてこの意見書（案）についてまだ話し合いが出来ていませんので、私個人としての感想を述べさせていただきます。

- 環境面、治水面、利水面から基本的な考えを集約して記述されています。言葉少く実り多い議論の結晶がここにあると感銘を受けました。
- 川上ダムについて……上野地区の洪水対策について調査・検討を行い……の記述に伊賀市の人々と共にハザードマップを行政と共につくり安心感のもてる地域づくりの方向とすれば良いのではと最近考えています。川上ダム建設は中止すべきとの結論があぶり出されることを願い、1月22日の最終委員会には敬意を表し、傍聴させていただきます。あとひとふんばりを期待しています。よろしくお願い致します。